

ニューガラスフォーラム

会 務 報 告

■世話人会

第2回

日時：昭和61年2月4日 17:30～20:00

場所：東京会館 12階「ハインルーム」

議題

- (1) 企画推進会議、セミナー等経過報告の件
- (2) 機関誌に関する件
- (3) 事務局連絡会議設置等の内規の件
- (4) その他

- 1) 最近の入会状況報告の件
- 2) 「新素材展」協賛の件

審議概要

すべて原案通り了承・承認された。なお、審議の経過で、専任事務局、事務所、財務体制等の新体制を整備する件に関し、事務局で検討するよう指示があった。

第3回

日時：昭和61年4月9日 12:00～13:30

場所：日本ガラス工業センター9階会議室

議題

- (1) 60年度事業報告の件
- (2) 60年度決算報告の件
- (3) 剰余金処分の件
- (4) 61年度事業計画（案）の件
- (5) 61年度予算（案）の件
- (6) 役員選任の件
- (7) 規約の一部改正に関する件

審議経過

第一回通常総会へ向けての議題であるが、すべて原案通り承認された。

（61年度の計画については、巻頭の総会記事を参照したい。）

■セミナー関係

◎第4回セミナー

日時：昭和61年3月11日（火）

場所：農協ビル8階国際会議室

主題：「半導体とガラス」

1. IC産業の現状と将来

東京農工大学電子工学科教授

垂井康夫氏

2. IC産業におけるガラス

1) IC製造技術とフォトリソの動向

(株)東芝LSI研究所

篠崎俊昭氏

2) 半導体製造用石英ガラス

東芝セラミックス(株)化学事業部技術部

崎久保邦彦氏

3) 半導体封止用ガラス

日本電気硝子(株)技術部

河村 勲氏

◎第5回セミナー

日時：昭和61年5月20日（火）13:00～17:00

場所：農協ビル8階国際会議室

主題：「機械機能性ニューガラス」

1. 総説

岩城硝子(株)

原 守久氏

2. 窒素含有ガラス

無機材質研究所

牧島亮男氏

3. セラミックファイバーによるガラス・セラミックの補強

防衛大学

新原皓一氏

4. 光ファイバーの強度

NTT茨城通研

稲垣伸夫氏

◎第6回セミナー

日時：昭和61年7月8日（火）13：00～16：40

場所：新橋住友ビル1階 大会議室

主題：「生体用・化学用ニューガラス」

1. 生体用材料

「臨床医の立場から」

愛知医科大学整形外科

教授 丹羽滋郎氏

2. 生体用材料

「無機質材料の立場から」

京都大学化学研究所

助教授 小久保正氏

3. 多孔質ガラス

旭硝子(株) 開発本部

主幹技師 鈴木由郎氏

4. 放射性廃棄物

ガラス固化処理技術

動力炉・核燃料開発事業団

東海事業所環境工学開発部

佐々木憲明氏

■企画推進会議

◎第10回

日時：昭和61年4月4日（金）14：00～17：00

場所：日本ガラス工業センター9階 会議室

主要議題

1 調査研究について

各委員会より調査結果を提出。討議結果をふまえて再度テーマのしぼり込みを行う。総合的まとめは座長、副座長が行う。

2 第6回セミナーについて

3 61年度事業計画について

従来にひきつづき以下の活動を行う。

(1) 提言活動（調査報告書、関係官庁・機関との連携等）

(2) 調査研究活動等（研究開発課題の調査等）

(3) 啓蒙普及活動等（セミナー開催、機関誌発行等）

このために専任事務局を設置し、また事業費の増加に対処して、会費の値上げに理解と協力を求める。

◎第11回

日時：昭和61年5月8日（木）13：30～17：00

場所：日本ガラス工業センター9階 会議室

主要議題

1 調査研究報告について

10テーマを選定した。各委員会において報告書のまとめを行い、座長に提出する。

2 第7回セミナーについて

下記の案を決定。

主題：「新しいガラスの製法」

日時：昭和61年10月7日（火）13：00～17：00

会場：京都 アバンティホール

テーマと講師：

(1) 総説

京都大学化学研究所

作花済夫先生

(2) ゾルゲル法によるガラスの製法

三重大学工学部

神谷寛一先生

(3) 超急冷法によるガラスの製法

大阪府立大学工学部

南 努先生

(4) CVD法によるガラスの製法

古河電気工業(株)

◎第12回

日時：昭和61年6月3日 11：00～13：00

場所：日本ガラス工業センター9階 会議室

主要議題

1 調査報告について

共同研究テーマのまとめ(案)が提出された。

各委員が最終検討を行う。

- 2 海外調査について
11月に海外調査団を派遣する。
- 3 ニューガラス産業ビジョン
通産省からの要望で近く策定作業に入る。
- 4 データベースについて
ガラス組成・物性データベース調査に関し、
「重要データベース開発計画」(通産省)に応募した。
- 5 広報関係
機関誌“NEW GLASS”第1号を発刊。
パンフレット作成中。

■事務局の開設

昭和61年5月26日(月)より、(社)日本硝子製品工業会の事務局の一隅を借り受け、事務局を開設した。現在の事務局構成は下記の通りである。

上松敏明 (マネージャー)

(旭硝子より出向)

主担当：企画推進会議・セミナー・機関誌
・官庁連絡

石栗八郎 (マネージャー)

(HOYAより出向)

主担当：産業ビジョン委員会・総務・広報
・会計

(なお、総会・世話人会・会員関係・その他については、両者で担当する)

佐野敦子 (事務局長)